

# 看護師企画によるシンポジウム

## ○テーマ

「がん患者の就労支援を考える」

—今、何が、できているのか—

司会 茨城県立中央病院 看護局長（がん看護専門看護師） かくた なおえ 角田 直枝

2012年6月、がん対策推進基本計画が見直され、重要項目として就労支援があげられた。これは、就労しながら治療を続けるがん患者の増加を示すものであろう。確かに、日々の臨床の中でも働く世代のがん患者は多く、これらの患者においては、治療が就労に影響を与えれば、経済的な問題にも発展することが予測される。

しかし、医療者にとって、がん患者の就労相談の対応や、就労継続への支援について、経験が豊富だったとは言えない。個別に、患者に対して、休養の必要性や、就労中の体調管理などの助言をすることはあっても、がん患者とその家族がもつ就労の問題については、患者自身が解決すべき事柄としてきたのではないだろうか。

そこで、今回のシンポジウムでは、がん患者の就労支援についての現状を共有することを目標とした。まず、座長から、茨城県総合がん対策推進計画—第三次計画—検討委員会で提供された、就労支援に関する資料について報告を行う。そして、シンポジストには、通院する患者の就労支援、がん患者の家族の就労支援、そして相談部門における就労支援の各立場から、現状についてご発言をいただく。

今回は、テーマの特殊性から、実践の成果や先駆的な取り組みの報告とは言い難いのかも知れない。しかし、それぞれのシンポジストが、このテーマに対してのありのままの取り組みを発表することにより、今、何が、できているのかを共有できるだろう。その結果、多くの施設でこの問題に関心を寄せ、今後、どのように取り組むべきかの議論に発展することを期待する。

## ○シンポジスト

いのうえ ようこ 井上 陽子（公益財団法人筑波メディカルセンター 看護部門 乳がん看護認定看護師）

さとう 恵りこ 佐藤 恵理子（茨城県立こども病院 看護局 がん化学療法看護認定看護師）

たむら まりこ 田村 麻里子（茨城県立中央病院 相談支援センター看護師）